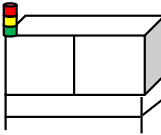
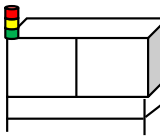


区分/ 工法 展示No	区分: ☐ 電動化 ☐ 軽量・小型化 ☐ 環境寄与 ☐ 自動運転・安全 ☒ 原価低減・品質向上 ☒ その他の技術分野		
	工法: ☐ 部品加工() ☐ 表面処理 ☐ 素材/材料 ☒ 設備/装置 ☐ 金型/治工具 ☐ システム/ソフトウェア ☐ デザイン ☒ 自動化技術 ☐ その他()		
提案名	ユニット使用による装置開発時間の短縮		新規性 独自技術
会社名	マルゴ工業(株)		所在地 〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町4-10-6
連絡先	URL : http://www.mrg-inc.jp		
部署名: 営業グループ	Tel No. : 0266-28-1211		
担当名: 今井 大志	E-mail : t-imai@mrg.co.jp		
主要取引先	・京セラ(株) ・(株)デンソー ・富士電機(株) ・セイコーエプソン(株) ・ソニー(株) ・横河電機(株) ・パナソニック(株)		海外生産対応 ☒ 可 (生産拠点国を記入 中国) ☐ 否

<< 提案内容 >>

提案の狙い ☐ 電動化 ☐ 質量低減(軽量化・小型化) ☐ 環境寄与/対策 ☐ 自動運転・安全 ☒ 原価低減 ☒ 品質/性能向上 ☒ 生産(作業)性向上 ☒ その他(納期)	適用可能な製品/分野 ・ 小型搬送/半導体、小型電子部品、自動車部品											
従来 要素開発からの開発・設計による装置化 【装置化のフロー】 <pre> graph TD A[装置内容検討] --> B[構想検討] B --> C[要素開発・設計] C --> D{実験・トライ} D -- NG --> C D -- OK --> E[装置仕様決定] E --> F[装置設計] F --> G{実験・トライ・DR} G -- NG --> F G -- OK --> H[製作] H --> I[完成] </pre> 【要素開発】 構想に必要な開発・設計 ハイリスク ・本当に実現するか? ・時間が掛かる  専用装置 ● 実現化が不透明 ⇒ 装置化断念可能性 (改善にならず)	新技術・新工法 ユニット使用により要素開発不要の装置化 (ユニット使用の場合) 【装置化のフロー】 <pre> graph TD A[装置内容検討] --> B[構想検討] B --> C[装置仕様決定] C --> D[装置設計] D --> E{実験・トライ・DR} E -- NG --> D E -- OK --> F[製作] F --> G[完成] </pre> 要素開発なし センタリングユニット P.Pユニット 反転ユニット  専用装置 ● ユニット使用による改善点・メリット ・正確な動作が可能 ⇒ Q 品質の安定・向上 ・開発時間が短い ⇒ C 開発コスト低減 ・欲しいタイミングで入手可能 ⇒ D 量産機or特注品対応可能											
セールスポイント(製造可能な精度/材質等) ● 対応ユニット ① ピック&ブレースユニット ⇒ 搬送 ② 反転ユニット ⇒ 反転動作 ③ センタリングユニット ⇒ 位置決め	問題点(課題)と対応方法 ・ ワークに合わせたカスタム化が必要											
開発進度 (2020年 4月 現在) ☐ アイデア段階 ☐ 試作/実験段階 ☐ 開発完了段階 ☒ 製品化完了段階		特許の有無 有										
従来との比較	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>コスト</th> <th>質量</th> <th>生産/作業性</th> <th>その他(納期)</th> </tr> <tr> <td>数値割合</td> <td>50%低減</td> <td>30%低減</td> <td>50%向上</td> <td>短縮</td> </tr> </table>	項目	コスト	質量	生産/作業性	その他(納期)	数値割合	50%低減	30%低減	50%向上	短縮	
項目	コスト	質量	生産/作業性	その他(納期)								
数値割合	50%低減	30%低減	50%向上	短縮								